

工学部イベントのご案内

公開講座

医学と工学が融合して新しい医療を開拓する
～千葉大学先端医工学研究のご紹介～

千葉大学で積極的に推進している医工学研究について医学系、工学系それぞれの立場からわかりやすく解説します。

13:05～14:20 「人工関節について」

鈴木昌彦(フロンティアメディカル工学研究開発センター)

14:20～15:20 「コンピュータ・グラフィクスを使った医療支援と訓練」

中口俊哉(大学院工学研究科人工システム科学専攻)

メディカル
システム
工学科

模擬講義

11:15～11:45 製品の構成材料とヒトの感覚

寺内文雄

デザイン
学科

製品を構成する様々な材料を対象として、それらの感覚特性を「体験しながら学ぶ」形式で講義を行います。そして製品に用いられる材料とヒトの感覚との関係、それらの材料を用いたデザインの具体的な方法について考えてみます。

12:00～12:30 2012年度版：ロボットと音声認識・話者認識

黒岩眞吾

情報画像
学科

昨年より進化した「人と会話する小型ロボットやスマートフォンの音声翻訳」のデモを見ながら、人の声がどのように作られるのか、そして、それをコンピュータがどのように認識するのかを学んでみましょう。模擬講義終了後、工学部1号館108室で実際に使ってみることもできます。

12:45～13:15 有機EL：その魅力と動作の謎

石井久夫

ナノ
サイエンス
学科

有機ELは多くの携帯電話のディスプレイに用いられており、大型テレビや省エネ平面光源として照明への実用化が始まりました。この講義では次世代技術としての有機ELの魅力を伝えるとともに、有機ELが動作する機構の謎を解明するナノサイエンス分野の研究を紹介します。

環境共生住宅の設計

13:30～14:00 ～2012ソーラーデカスロン・ヨーロッパへの挑戦～鈴木弘樹

建築学科

今年、千葉大学はスペインのマドリッドで開かれたソーラーデカスロンヨーロッパ(SDE)2012に日本で初めて唯一参加しました。その挑戦記録と、省エネルギー・ゼロミッションを目標とした住宅制作の意味についてご紹介します。

14:15～14:45 色彩と画像

青木直和

画像
科学科

日常生活において人は視覚から多くの情報を得て、ものの形や色を知覚していますが、脳の認識により色や形が実際と異なって見えることがあります。この視覚効果を使った、人の感覚に訴える画像を紹介します。また、観察環境を考慮して色を再現する際の、色の扱い方についても紹介します。

15:30～16:00 音波を使った診断・治療における工学技術

山口 匡

メディカル
システム
工学科

エコー検査という診療法があることは既に広く知られています。本講義では、超音波を使ったエコー検査を実現するための物理的な意味や工学的な工夫について、実際の診断例を交えて説明するとともに、音波を用いた治療応用技術についても併せて解説します。

2012.11.3(Sat)～11.4(Sun)

第50回

千葉大学

工
学
部
祭



於：千葉大学西千葉キャンパス <http://www.eng.chiba-u.ac.jp>